

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会

2001年度第3回常任幹事会議事要録

日時：2002年3月15日(金) 13時30分～17時20分

場所：金城学院大学図書館会議室

出席：10館14名

議事の進行は理事校の図書館長(西原)が担当し、下記の議題を協議した。

議事

<1> 報告事項(第2回常任幹事会(12月14日)以降の経過について)

1. 西地区部会・私立大学図書館協会関係

理事校(鈴木)より資料(p.2-10)に基づき西地区部会の報告が行なわれた。

- ・ 2002年度愛知工科大学が新規加盟予定である。
- ・ 2002年度西地区部会研究会が、9月20日(金)に九州国際大学で開催される。また、前日の9月19日(木)に役員会が行なわれる。
- ・ 2002年度西地区部会総会が6月14日(金)に同志社大学で開催される。総会後の見学研修は京都御所で、ガイドつきのため出欠は必ず出して欲しいとのことであった。
- ・ 館長・事務長会議(仮称)を西地区でも行ないたいとの提案が会長校よりあり、2002年度より、前向きに検討することとなった。
- ・ 私立大学図書館協会ホームページに掲載のため、各地区協議会総会・研究会・委員会等の開催通知原稿を部会長校へ情報提供して欲しいとの要請があった。

中京大学(加藤氏)より資料(p.11-69)に基づき私立大学図書館協会の報告が行なわれた。

- ・ 2002年度新規加盟校は東地区2校・西地区1校の予定であり、加盟校数は東地区217校・西地区218校で合計435校になる予定である。
- ・ 新規加盟の案内を未加盟校に送っている。東海地区部会では名古屋音楽大学と名古屋学芸大学については未加盟ではあるが、それぞれ同朋学園大学・名古屋外国語大学と同じ敷地内にあり共有図書館のため加盟済みにすることとし、未加盟校リストからははずすこととなった。
- ・ 国立情報学研究所と私立大学図書館協会との共同開催による「目録システム地域講習会」の名称を「目録システム講習会」とすること。また、開催回数を研究所において、年度につき2回から1回になった。これ以外の開催については研究所と協会の協議による。2001年度は関西大学で行なわれたが、次年度も関西大学で9月中旬開催の予定である。また、覚書については異議がない場合は自動更新とする。

- ・ 国際図書館協力事業の次の3つは一般会計から支出することが認められた。
基金の協会負担振込手数料、基金の協力企業への報告会・昼食代、委員会関連諸費用
- ・ 会計報告書については次回から新形式で統一することとなった。
- ・ 会報の配布基準の見直し案が出され承認された。
- ・ 2002年度一般会計・特別会計予算案では、講師・来賓に交通費を出すことで承認された。

2. 協会賞審査委員会・研究助成委員会について、愛知大学(野口氏)より資料(p.70)に基づき報告があり、研究助成については3件の申請があり、桜美林大学と流通科学大学の2件について認められたとの報告がなされた。

3. 国際図書館協力委員会について中京大学(加藤氏)より資料(p.71)に基づき報告があった。海外集合研修については前年度申込みの5名になるが、不参加の場合は再募集をすることとなる。また、2002年5月31日に早稲田大学で開催されるシンポジウムへの参加の呼びかけがなされた。

4. 協会ホームページ委員会について、愛知工業大学(柏本氏)より資料(p.72)に基づき報告があり、「お知らせ」のコンテンツの充実のため、各委員会等から理事校を通じて情報を出して欲しいとの呼びかけがあった。

5. 2002年度私立大学図書館協会総会・研究大会・見学会について、愛知学院大学(横山氏)より資料(p.73-85)に基づき報告がなされた。
案内を5月下旬に発送予定。当日スタッフが60名程度必要なので地区の応援をいただきたいことのお願があった。

6. 東海地区協議会事業経過報告及び決算(案)について、金城学院大学(波多野)より資料(p.86-90)に基づき報告が行なわれた。

7. 東海地区研究会活動報告及び決算(案)について、金城学院大学(波多野)より資料(p.91-94)に基づき報告が行なわれた。

8. 相互協力委員会活動報告及び決算(案)について、愛知大学(長坂氏)より資料(p.95-99)に基づき報告が行なわれた。

9. 情報化委員会活動報告及び決算(案)について、南山大学(笹山氏)より資料(p.100-103)

に基づき報告が行なわれた。

10. 東海地区協議会ホームページについて、南山大学（笹山氏）より報告があり、現在閲覧者数が少ないため、多くの人に見てもらうように、有益な情報を早くあげていくようにしたい。また、メーリングリストについては、立ち上げるための費用が必要なので、現在は愛知大学のサーバーを借りているが、私立大学図書館協会のホームページの動きを見ながら変えていきたいとの説明があった。

11. 東海地区大学図書館協議会について、金城学院大学（鈴木）より報告があり、2002年度総会は7月下旬に金城学院大学で開催すること、またその参加の呼びかけがなされた。

<協議事項>

1. 2002年度東海地区協議会総会について、名古屋女子大学（大川氏）より資料(p.104)に基づき提案がなされた。名古屋女子大学で5月22日（水）に総会を開催することで了承された。また、名古屋女子大学図書館から名古屋女子大学学術情報センターに名称変更されたことの報告がなされた。

2. 2002年度以降の私立大学図書館協会理事校・当番校について、金城学院大学（鈴木）より資料(p.105-106)に基づき提案があり、2009年度・2010年度の理事校に朝日大学が就任されることの報告があった。また、2008年度西地区部会総会会場校と2010年度研究会当番校を、次期理事校南山大学のところで決めることで了承された。

3. 「館灯」賛助会員掲載広告の大きさについて、金城学院大学（波多野）より資料（p.107-109）に基づき提案があり、原則として賛助会費4万円以上はA4サイズ1頁、2～3万円はA4サイズの1/2頁、1万円はA4サイズの1/4頁の大きさにすることで了承された。また、これは研究会担当校への申し送りにすることとなった。あわせて、「館灯」に載せている賛助会員名簿も五十音順にすることで、了承された。

4. 2002年度相互協力委員会事業について、愛知大学（長坂氏）より資料（p.110-112）に基づき提案があった。

相互協力実務担当者研修会の参加費1,000円値上げについては、現時点では難しいので、他で工夫することとなった。東海地区における共同トライアル実施について、また研究助成の一部継続については了承された。アンケート調査については、回答締め切りを1ヶ月遅らせること、情報化委員会と内容を調整することで了承された。

5. 会計報告書の形式について、愛知大学（野口氏）より私立大学図書館協会にあわせて新形式にしたらどうかとの提案があり、次回から新形式にすることで了承された。

< 確認事項 >

1. 2002年度第1回常任幹事会について

名古屋女子大学（大川氏）より5月7日（火）名古屋女子大学で開催されることの説明がなされた。

2. 紀要・学内学会誌分担保存協定について

金城学院大学（鈴木）より資料（p.113）に基づき説明があり、「館灯」に載せることとなった。

< その他 >

1. 中京大学（加藤氏）より国立情報学研究所と私立大学図書館協会との懇談会は、今後行なわないこと、また新CATに60%しか移行されていないことの報告があった。

2. 金城学院大学（鈴木）より平成13年度大学図書館等情報化支援会議の報告があった。国立情報学研究所が、大学紀要の電子化をILLの件数の多いもの・著作権クリアされているものから実施、平成14年10月から公開の予定であることが報告された。

3. 「東海地区加盟図書館事務長（課長）会」（仮称）の立ち上げについて、愛知大学（野口氏）より資料の基づき説明があり、次回提案することとなった。